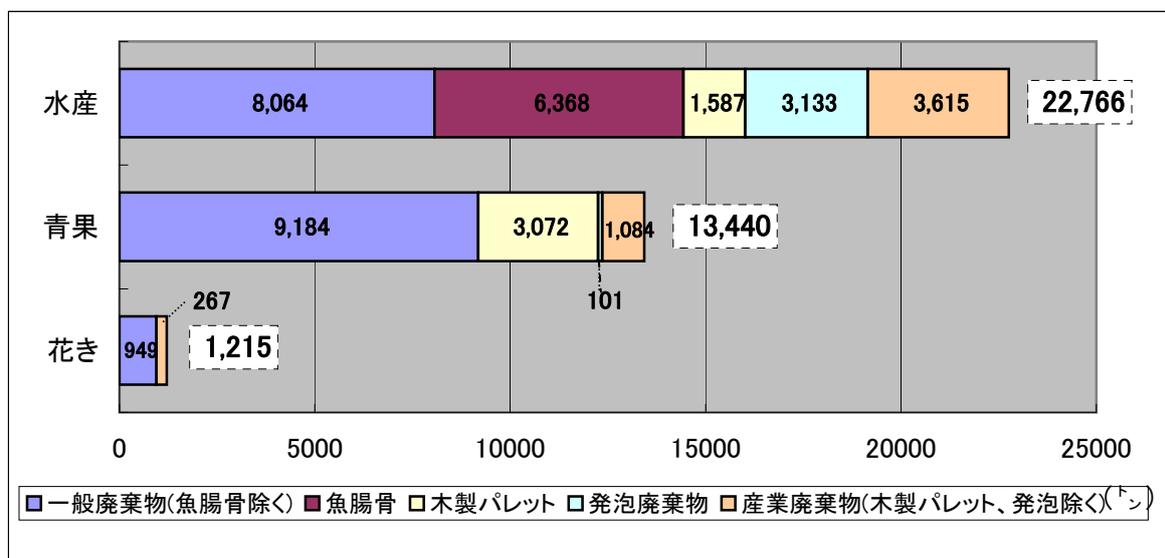
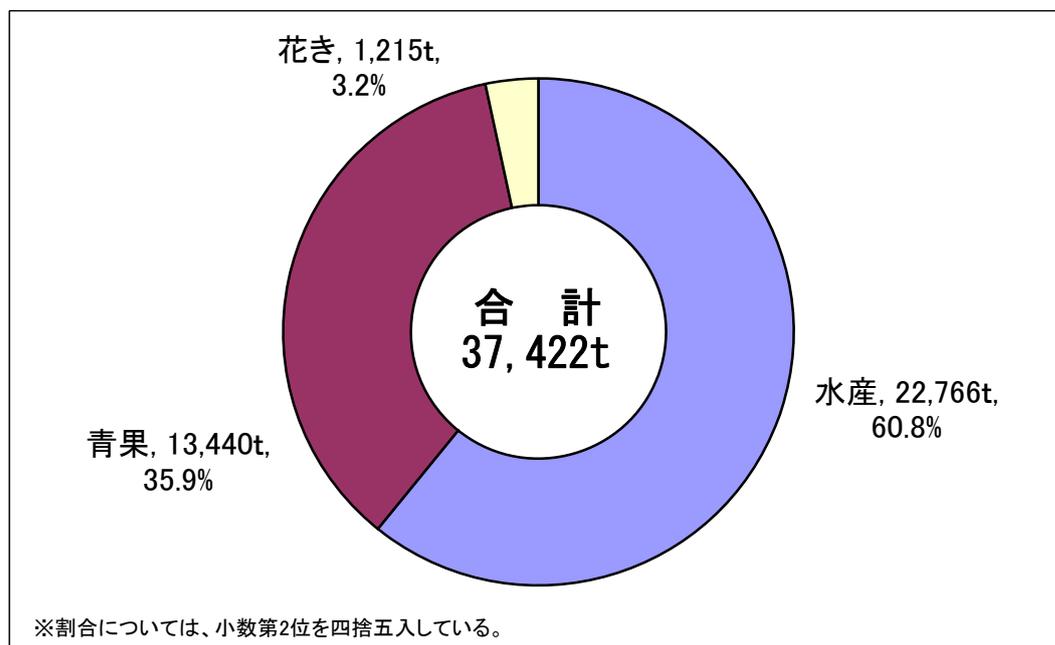


平成22年度 取扱部類別の廃棄物発生量



※数値は、単位未満を四捨五入しているため、計の数値と内訳数値の合計は、一致しない場合がある。

○水産は22,766トンであり、全取扱部類の発生量全体に占める構成比は60.8%と最も大きくなっています。また、一般廃棄物に加え、魚腸骨や発泡廃棄物等が多く排出されています。

○青果は13,440トン(構成比35.9%)であり、一般廃棄物が大半を占めています。

○花きは1,215トン(構成比3.2%)となっており、水産や青果と比較すると発生量が大変少なくなっています。